皆さん、こんにちは。市議会議長の奴間健司です。

第２４回童謡祭り、第６回子ども美術展の開催、ならびに表彰式にあたり、議会を代表してひと言ごあいさつ申しあげます。

まずは、童謡祭りの独唱コンクールで表彰されるお友達、また子ども美術展で表彰されるお友達、保護者の皆さん、おめでとうございます。

私も昨日は、サンフレア古賀では、子どもたちの絵画や書道を観てきました。今日は昼前からステージでの発表を鑑賞させていただきました。すばらしいですね。子どもたちの、のびのびとした表現力に感動の一言です。

楽しい、そして心癒される時間をどうもありがとうご

ざいました。

ソチオリンピックでは１０代をはじめ若者が大活躍し国民に元気と感動を与えてくれました。こども美術展、童謡まつりに参加した子どもたちも、ソチオリンピックで活躍した若者たちのように輝いています。全員に金メダルをあげたいくらいです。

３月１１日、東日本大震災から３周年を迎えます。その復興過程でも文化・芸術が、多くの人々を励ましてくれました。

あらためて、文化・芸術の原点は、生きる希望や力を生み出すものではないだろうかと痛感します。

特に文化・芸術活動に子どもたち、若い世代が参加す

ることが大切です。社会全体、地域全体に希望をもたらしてくれます。

先日、古賀市議会議場で小学生、中学生１０人が作文を発表してくれました。美術展、童謡まつりと同じように素晴らしい主張を発表してくれました。

感性豊かな若者が育つこと。自分の意見を相手に伝え、相手の意見をしっかり聞く力を持つ子どもたちを育てることは、まちづくりの大きな柱です。

子どももお年寄りも安心して暮らせる古賀市にするためにも、子どもたちに歌、絵画、書道などを通じて自分たちの想いを発表する機会をぜひ発展させていきたいと思います。

市議会議員１９人も、市民の皆さんとともに、街づくりのハーモニーの一翼を担っていくことをお誓いします。

結びに、結城会長をはじめ、文化協会や実行委員会の皆さん、古賀竟成館高校の生徒さんたちのご苦労に心より敬意を表し、あいさつとします。

素晴らしい童謡祭り、子ども美術展、本当にありがとうございます。

２０１４年２月２３日　古賀市議会議長　奴間健司